

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和 3年 6月 3日

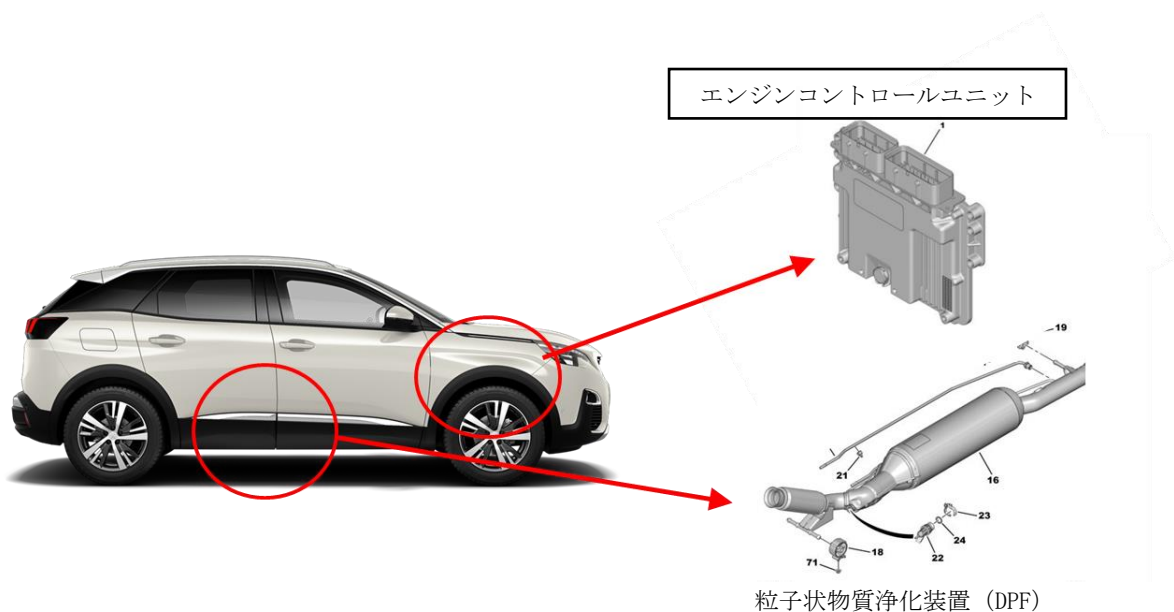
リコール届出番号	外-3221	リコール開始日：準備出来次第	
届出者の氏名又は名称	Groupe PSA Japan株式会社 代表取締役社長 木村 隆之 (製作国： フランス共和国) (製作者名： オートモビル・プジョー) (問い合わせ先： 0120-840-240 プジョーコール) (製作者名： オートモビル・シトロエン) (問い合わせ先： 0120-55-4106 シトロエンコール) (製作者名： DS Automobiles) (問い合わせ先： 0120-92-6813 DS コール)		
不具合部位 (部品名)	排気ガス発散防止装置 (粒子状物質浄化装置 (DPF))		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ディーゼルエンジンの粒子状物質浄化装置 (DPF) において、エンジンコントロールユニットのプログラムが不適切なため、DPF内部の温度が想定より高温になることがある。そのため、当該内部のフィルターが熱影響により亀裂が発生することで、粒子状物質の浄化性能が低下し、排気ガス規制値を満足しなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、 ①エンジンコントロールユニットを対策プログラムに書き換え、粒子状物質浄化装置 (DPF) を新品に交換する。 ②排気ガス中の粒子状物質の量を点検し、規定量以上の場合は粒子状物質浄化装置 (DPF) を新品に交換する。併せて、エンジンコントロールユニットを対策プログラムに書き換える		
不具合件数	0 件	事故の有無	0 件
発見の動機	本国からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用者 : 電話・ダイレクトメールにて通知する。 ● 自動車特定整備事業者：日整連発行の機関誌へ掲載する。 ● 弊社ホームページに掲載する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 (シリアル番号) の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
プジョー	LDA-P84AH01	「3008」	VF3MJEHRHS354856～VF3MJEHRJS335709 平成30年7月13日～平成31年1月16日	563台	①
			VF3MJEHRJS235612～VF3MJEHRKS200014 平成30年7月13日～令和元年6月21日	1,350台	②
	LDA-P87AH01	「5008」	VF3MJEHRHL073069～VF3MJEHRJL057077 平成30年6月21日～平成30年11月27日	394台	①
			VF3MJEHRHL078712～VF3MJEHRKS191410 平成30年6月21日～令和元年10月30日	611台	②

	LDA-T9AH01	「308」	VF3LHEHZRHS306773～VF3LHEHZRJS148227 平成30年8月4日～平成30年12月20日	12台	①
	LDA-T9WAH01	「308」	VF3LJEHZRHS356616～VF3LJEHZRJS330492 平成30年5月11日～平成30年12月20日	170台	①
			VF3LJEHZRJS222408～VF3LJEHZRKS091958 平成30年6月21日～平成31年4月9日	127台	②
	3DA-R8AH01	「508」	VR3FHEHZRJY153484～VR3FJEHZRKY093967 平成31年2月20日～令和2年8月6日	516台	②
シトロエン	3DA-B787AH01	「C4 スペース ツアラー」	VF73AEHYRJJ798359～VF73AEHYRKJ645672 平成31年2月2日～令和元年6月21日	173台	②
	3DA-C84AH01	「C5 エアクロス」	VR7AJEHZRJL079620～VR7AJEHZRKL051811 平成31年1月16日～令和元年7月4日	285台	②
DS	LDA-X74AH01	「DS 7」	VR1JJEHZRHY161620～VR1JJEHZRJY138613 平成30年7月13日～令和元年10月30日	154台	①
			VR1JJEHZRJY062477～VR1JJEHZRKY094560 平成30年7月13日～令和元年8月29日	121台	②
合計	計8型式	計7車種	輸入期間の全体の範囲 平成30年5月11日～令和2年8月6日	計4,476台	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図



注： は対策する箇所を示す

不具合の内容

ディーゼルエンジンの粒子状物質浄化装置（DPF）において、エンジンコントロールユニットのプログラムが不適切なため、DPF内部の温度が想定より高温になることがある。そのため、当該内部のフィルターが熱影響により亀裂が発生することで、粒子状物質の浄化性能が低下し、排気ガス規制値を満足しなくなるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、

- ①エンジンコントロールユニットを対策プログラムに書き換え、粒子状物質浄化装置（DPF）を新品に交換する。
- ②排気ガス中の粒子状物質の量を点検し、規定量以上の場合は粒子状物質浄化装置（DPF）を新品に交換する。併せて、エンジンコントロールユニットを対策プログラムに書き換える。

識別

車台番号打刻の下段右側に青ペイントを塗る。